

おわりに

今般の新型コロナウイルス感染症への対応における諸課題について、国では、「感染症の急速な流行状況の変化にも弾力的な対応が可能で、救急医療を含む平常の医療にも支障が生じない医療提供体制」の構築を目指し、令和6年度（2024年度）からの次期医療計画に盛り込む予定ですが、静岡県では、それに先行して、来年度の静岡県保健医療計画の中間見直しの中で検討が進められる予定です。

一方、これまでの新型コロナウイルス患者、特に重症者への対応において、わが国では、先進諸国の中で人口当たり病床数は多いものの、病床当たりの医療従事者数が少ないことや、中小規模の病院が多く、高度・集中治療が可能な病床数が少ないことが指摘されていますが、これらは、医師の働き方改革に関する国の検討会などでの議論で指摘されていた医療提供体制の課題と一致しています。

医療計画における疾病・事業ごとの医療提供体制については、若手医師の卒後研修の体制にも大きく関わってくることから、今回の中間見直しにとどまらず、3年後の次期計画の策定までを見据えた中期的な展望の下での検討が必要であり、各圏域や県内全体において、各医療機関の診療実績や将来人口推計、医療・介護需要予測等に基づいた、現実的、かつ、未来志向の協議が望まれます。

これらの状況を踏まえると、今後は、二次医療圏内における機能分担と連携体制に基づく各医療機関の医療機能の最適化と圏域を越えた広域連携による、各研修施設の特性に応じた診療機能の充実・強化なくして研修体制の充実はないものと個人的には考えています。

当講座としても、それぞれの地域において、医師の不足や偏在の解消にも資する、「地域完結型」の医療提供体制の構築に向けた協議を重ねていただけるよう、引き続き取り組んでまいります。

最後になりましたが、本講座の活動にご支援いただいた静岡県健康福祉部医療局並びに県内医療関係者の皆様、本学教職員の皆様に心よりお礼申し上げます。

令和3年（2021年）3月

浜松医科大学 医学部医学科 地域医療支援学講座
竹内 浩視

表紙写真：薩埵峠から望む富士山と駿河湾（静岡市清水区）

裏表紙写真：朝焼けの海に浮かぶ初島と伊豆大島（熱海市東海岸町）

浜松医科大学 地域医療支援学講座 令和2年度（2020年度）実績報告書

令和3年（2021年）3月

発行：国立大学法人浜松医科大学 医学部医学科 地域医療支援学講座
（静岡県寄附講座）

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号

TEL/FAX 053-435-2446



浜松医科大学

Hamamatsu University School of Medicine

医学部 地域医療支援学講座